



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6894 URL <http://www.pulstec.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 幸博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)工藤 孝史 (TEL)053-522-5176  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,335	△8.9	109	△41.8	115	△43.2	65	△61.5
29年3月期第3四半期	1,465	5.1	187	30.0	202	29.2	169	20.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 77百万円(△54.9%) 29年3月期第3四半期 172百万円(20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	47.56	—
29年3月期第3四半期	123.60	—

(注) 平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,236	2,336	72.2
29年3月期	3,201	2,259	70.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,336百万円 29年3月期 2,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,100	△2.9	250	△27.6	268	△26.0	232	△31.5
								169.71

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、16円97銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	1,393,459株	29年3月期	1,393,459株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	24,653株	29年3月期	24,360株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	1,368,940株	29年3月期3Q	1,369,281株

(注)平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
3. その他 .....	6
生産、受注及び販売の状況 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が改善され、雇用環境や個人所得も改善の傾向が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。米国新政権の政策動向やアジア地域の地政学的リスクの高まりが懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、光ディスク関連は、設備投資が低調なものの、自動車関連及び特殊機器関連の設備投資は引き続き好調を維持しており、ヘルスケア関連は、光波センシング技術による応用製品のニーズが一段と高くなり、いずれも良好な受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、販売力の強化、優良顧客の獲得、受注の確保、市場の開拓など、積極的な営業活動を展開するとともに、さらなる原価低減に注力いたしました。

ポータブル型X線残留応力測定装置につきましては、展示会や内覧会等への出展、戦略的な装置の貸出し、受託計測サービスなどに注力するとともに、海外市場においては、現地代理店による本格的な販促活動を展開したことなどにより、確度の高い引合い案件は増加いたしました。受注確定までに長期間を要する案件が多く、低調な推移となりました。

ヘルスケア関連につきましては、遺伝子検査装置及び受託開発製品のリピート受注に加え、引き続き、受託開発・試作・量産等の引合いは大幅に増加しており、好調な推移となりました。

光ディスク関連機器・装置につきましては、修理や改造案件は多少増加したものの、新規設備の引合いは大幅に減少したことから、非常に低調な推移となりました。

3Dスキャナ関連につきましては、多関節デジタイザ用高速・高精度新型3Dスキャナの供給が本格化したことから、好調に推移いたしました。

光応用装置や特殊機器・装置関連につきましては、波面センサなどの光学系検査装置の需要増加に加え、個別対応の特殊機器・装置の引合いも増加したことから、好調に推移いたしました。

以上の結果、受注高は16億56百万円（前年同期比7.5%増）、売上高は13億35百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

損益面につきましては、営業利益は1億9百万円（前年同期比41.8%減）、経常利益は1億15百万円（前年同期比43.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65百万円（前年同期比61.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて35百万円増加し、32億36百万円となりました。これは主に、仕掛品が2億14百万円増加し、現金及び預金が1億40百万円、受取手形及び売掛金が70百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて42百万円減少し、8億99百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億21百万円増加し、賞与引当金が93百万円、未払法人税等が44百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて77百万円増加し、23億36百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億34百万円増加し、資本剰余金が1億69百万円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、光ディスク関連は、設備投資環境に大きな変化はみられず、低調な受注環境が予測されますが、ポータブル型X線残留応力測定装置及びヘルスケア関連は、確度の高い引合い案件が増加し堅調に推移する見通しであり、3Dスキャナ、光応用装置及び特殊機器・装置関連につきましても好調が維持されており引合いも増加傾向であることから、それぞれ良好に推移するものと予想しております。

以上の見通しと最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	893,749	753,597
受取手形及び売掛金	873,605	803,472
仕掛品	188,596	403,438
原材料及び貯蔵品	86,165	94,724
その他	150,420	134,590
流動資産合計	2,192,536	2,189,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	282,545	281,034
その他(純額)	369,740	373,523
有形固定資産合計	652,286	654,558
無形固定資産		
投資その他の資産	1,536	1,318
投資その他の資産		
投資その他の資産	380,310	413,460
貸倒引当金	△25,300	△22,700
投資その他の資産合計	355,010	390,760
固定資産合計	1,008,833	1,046,637
資産合計	3,201,369	3,236,461
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,203	262,005
1年内返済予定の長期借入金	42,020	16,370
未払法人税等	44,021	-
賞与引当金	93,322	-
その他	118,886	135,262
流動負債合計	438,453	413,638
固定負債		
長期借入金	75,980	68,240
退職給付に係る負債	425,360	412,894
その他	1,918	4,818
固定負債合計	503,258	485,952
負債合計	941,712	899,591
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	1,099,653	929,795
利益剰余金	△176,026	58,935
自己株式	△164,861	△165,520
株主資本合計	2,250,140	2,314,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,891	21,260
為替換算調整勘定	625	1,024
その他の包括利益累計額合計	9,517	22,284
純資産合計	2,259,657	2,336,870
負債純資産合計	3,201,369	3,236,461

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,465,796	1,335,356
売上原価	742,696	732,066
売上総利益	723,099	603,290
販売費及び一般管理費	535,782	494,227
営業利益	187,317	109,062
営業外収益		
受取利息及び配当金	696	1,142
為替差益	-	315
売電収入	9,547	9,808
貸倒引当金戻入額	14,900	2,600
その他	1,069	1,022
営業外収益合計	26,213	14,889
営業外費用		
支払利息	1,530	972
為替差損	524	-
売電費用	9,017	7,918
営業外費用合計	11,072	8,891
経常利益	202,459	115,060
特別損失		
固定資産除却損	0	19
投資有価証券売却損	980	-
特別損失合計	980	19
税金等調整前四半期純利益	201,479	115,041
法人税等	32,237	49,936
四半期純利益	169,241	65,104
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,241	65,104

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	169,241	65,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,025	12,368
為替換算調整勘定	2,387	398
その他の包括利益合計	3,412	12,767
四半期包括利益	172,653	77,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,653	77,871
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,696,307	112.4

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,656,601	107.5	1,033,580	164.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,335,356	91.1

(注) 1. 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
株式会社小坂研究所	—	—	152,725	11.4
HOYA ELECTRONICS MALAYSIA SDN. BHD.	165,243	11.3	—	—
Sony DADC US Inc.	158,263	10.8	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。